



令和5年度学校評価

甲府市立伊勢小学校

保護者・地域の皆様へ

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受け、本校でも内容や方法を工夫しながら、少しずつできる活動を増やして取り組んだ令和5年度でした。保護者・地域の皆様には、学校教育の推進に当たり、ご理解とご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、過日実施しました学校評価アンケートを基に学校運営協議会で評価を行い、来年度に向けての方向性と改善策をまとめました。来年度も引き続き、安心・安全な学校づくりと児童を中心とした学校教育活動に丁寧に取り組み、様々な経験をさせつつ、さらなる学校生活の充実を目指します。

なお、皆様から、学校に向けて多くの激励の言葉もいただきました。ありがとうございました。今年の10月に創立100周年を迎える本校の伝統を大切にするとともに、児童一人ひとりの可能性を一層伸ばしていけるよう、教職員一同努力してまいります。

令和6年2月

校長 小田切 利幸



伊勢小学校のホームページでも公開します

4 そう思う 3 ややそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない

重点	項目	番号	評価者	質問紙項目	評価				自己評価（取組状況・成果・課題）	改善策
					4	3	2	1		
○	学校生活	1	教師	児童は、毎日喜んで登校している。	30	70	0	0	昨年度と同様に、どの評価者種別においても、85%以上が肯定的回答をしており、総合得点も増加している。しかし、児童の8%が否定的回答と、少数ではあるが様々な要因で学校に楽しさを感じることができない子供たちが存在している。学校では今後も、こうした子供たちへよりきめ細かな対応を継続していく必要がある。	○教師と子供、子供同士の信頼関係を高められるよう、楽しくメリハリのある学級経営や分かって楽しい授業づくり等に取り組んでいく。 ○連絡帳や電話等で家庭との連絡を密にし、児童の状況や対応について共有する。 ○SC、SSWなどの外部機関と連携し、様々な角度から児童の不安払拭の取組を推進する。
			児童	学校生活は楽しいですか。	74.4	17.5	0	8.07		
			保護者	子どもは、毎日学校に行くのを楽しみにしている。	48.2	38.1	7.91	5.76		
	教育相談	2	教師	学校は、児童の心の問題に対応する体制が整っている。	70	25	5	0	どの評価者種別においても90%以上が肯定的な回答をしている。特に児童の肯定的回答が増えている、学校の雰囲気や相談しやすい和やかな雰囲気であることが伺える。児童・保護者からの高い信頼を持続させるためにも、これからはきめ細かな児童の見取りや、共感的理解を意識した親和的な関わり方を意識して学級経営を行ってきたい。	○児童や保護者と信頼関係をしっかりと築けるよう、きめ細かな児童観察や気になる児童への積極的な言葉かけや共感的理解を推進することで、相談しやすい安心感のある学級経営を継続していく。 ○SCの配置が継続され、児童、保護者の面接希望も増えている。有意義な面談ができるよう工夫する。
			児童	いろいろなことを相談できる先生が学校にいますか。	64.6	26	6.73	2.69		
			保護者	子どものことについて、学校には気軽に相談できる。	45.3	46.8	7.91	0		
○	あいさつ	3	教師	児童は、学校や地域であいさつがよくできている。	0	50	50	0	昨年度と比べ、教師の否定的回答が増加し、児童の肯定的回答は90%を占め、周囲の捉えと自己認識のずれが認められる。旗振り当番の保護者からも挨拶が少ないのご指摘をいただくこともある。児童は自分ではしているが、声が届いていないことに気づいていないと思われる。今年度は地域の方や児童会を中心に朝のあいさつ運動に取り組んだ。道徳の時間や毎日の学級指導を中心に今後もより一層取り組んでいく必要がある。	○学級活動や道徳の時間など、学校生活のあらゆる場面であいさつの大切さや具体的な方法を指導する。また、教師自ら範を示す。 ○児童会の取組等あいさつ運動を継続して取り組んでいく。（小中連携課題） ○今年度の取組を継続するとともに、あいさつ運動の取組を通知等で家庭に知らせ、学校、家庭や地域と連携して取り組んでいく。
			児童	地域の人やお友達に進んであいさつをしていますか。	51.1	39.5	4.93	4.48		
			保護者	子どもは、家庭や地域であいさつがよくできている。	25.9	49.6	20.9	3.6		
	読書活動	4	教師	学校は、朝読書や読書週間など、楽しく読書活動を推進している。	65	35	0	0	教師は肯定的回答が占めているが、読み聞かせ動画配信などの取組が大きいと考えられる。児童の肯定的回答は昨年とほぼ同割合であり、保護者は否定的回答が上回っている。本の貸し出し数も増加傾向で、学校では読書している姿が見られるが、保護者の前で読書している姿が見られないと考えられる。家庭読書の習慣化に向けての取組を継続していく必要がある。	○図書館主任・司書委員会を中心に、読書週間や家庭での親子読書等を推進し、家庭読書の姿を保護者が見る機会を増やす。児童の読書に対する意識を高めていく。 ○聞き耳ずきんお話の会などのボランティアや教職員による読み聞かせ、児童の発達段階に応じた本の紹介を行うことにより、読書の幅や質的向上を図る。
			児童	進んで読書をしていますか。	43.9	29.1	17	9.87		
			保護者	子どもは家庭で読書をしている。	15.1	30.2	37.4	17.3		
	学習意欲	5	教師	児童は、進んで学習に取り組んでいる。	25	75	0	0	児童の肯定的回答が85%以上と高くなっているが、学習に意欲が持たずに落ち着かない児童も一定数見られる。保護者は、約70%の肯定的回答は得られているが、否定的回答が昨年度より増加傾向にある。コロナ禍は落ち着いたが、生活様式は戻らず、意欲の持続が難しい状況もあるが、今後も授業や家庭学習に楽しく取り組めるようにしていく必要がある。	○引き続き、学習指導要領の考え方を具現化するために教材研究を深めたり、研修会に積極的に参加したりしながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるような授業を目指す。 ○家庭と密に連絡を取り合うことで、学校と家庭が一体となって児童の自己肯定感を高めていく。
			児童	自分から進んで勉強していますか。	47.5	37.2	9.87	5.38		
			保護者	子どもは、学習に意欲的に取り組んでいる。	24.5	44.6	21.6	9.35		

裏面に続く

	学習指導	6	教師	学校は、基礎・基本の定着が図れるような学習・授業をすすめている。	65	35	0	0	昨年同様、3者とも85%以上が肯定的回答となっている。特に児童の「そう思う」の回答が昨年度に比べ10%増加しており、ICT利用や校内研究などの取組の成果と考えられる。保護者の回答についても、7割以上の肯定的な回答は得られている。今後もより一層指導力を磨き、効果的な学習指導が実践できるようにしていきたい。	○各種調査、アンケートなどを活用し、児童の意欲向上のための授業改善に努める。 ○引き続き、学習指導要領の考え方を具現化するために一人一台端末などICTを積極的に利用した教材研究を深めたり、アクティブ・ラーニングやユニバーサルデザインの考えに基づいた授業実践や研修会に積極的に参加したりしながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるような授業を目指す。
		児童	授業はよく分かりますか。	70	24.7	3.14	2.24			
		保護者	子どもは学習の内容を理解している。	35.3	52.5	8.63	3.6			
○	学習習慣	7	教師	学校は、学習習慣の定着に向けた取組を推進している。	60	40	0	0	昨年度同様、教師と児童は80%以上と学習習慣が身につけていると感じている。一方で保護者は約70%が肯定的回答と若干低くなっていて、児童と家庭の認識の差が見られる。今年度は8のつく日に家庭学習の実践の様子を家庭で確認する取組を行った。今後も宿題や家庭学習も含め、学習に楽しく取り組む姿を家庭と共有していく取組を活発にしていくなが必要がある。	○一人一台端末の持ち帰り活用方法について研修を深め、e-ライブラリなどを積極的に活用するなど、家庭での一人一台端末活用の方策を実践していく。 ○市教委作成の「家庭学習の手引き」など、家庭学習の重要性と方法を保護者や児童に周知して、家庭の理解や協力を得ながら家庭学習を推進していく。
		児童	家で宿題や自由勉強をしていますか。	61.4	26	8.52	4.04			
		保護者	子どもは、各家庭での学習習慣が身につけている。	28.1	43.2	20.9	7.91			
	心の教育	8	教師	学校は、児童の豊かな心の育成を図っている。	55	45	0	0	3者とも、高い肯定的回答となっている。特に児童や保護者の肯定的回答が90%以上と大変高く、学校で推進している心の教育の成果を認めただけにいると思われる。一方で、課題を抱える子供たちも少なからずいるので、共感的理解を意識したよりよい指導ができるようさらに改善していく必要もある。また、開発的・予防的な指導を推進していくことによって、児童の自己肯定感を高めていくことが重要である。	○授業参観での全校実践など、道徳授業の推進と改善を行い、道徳的心情を高め、道徳実践力等を高める。○日常生活の課題を適切に取り上げ、道徳や学活などの機会を生かし、解決方法を考えたり話し合ったりし、普段の生活に生かす道徳実践力を養っていく。○「いじめ」については、未然防止や早期発見・早期対応を行い、組織的に対応する。
		児童	だれとでも仲良くしていますか。	69.1	23.8	4.93	2.24			
		保護者	子どもは優しい気持ちや社会性が育っている。	48.2	50.4	1.44	0			
○	健康食育	9	教師	学校は、体力向上、健康増進の指導を推進している。	40	60	0	0	3者とも肯定的回答が80%以上と昨年と同様の結果であった。本校は栄養教諭が勤務しているため、家庭科や給食の時間に各教室を回って、食に対する意識を高める指導が続けられている。また、養護教諭を中心に歯みがき指導などの保健教育も推進している。コロナ感染症が5類に引き下げられたので、引き続き活動を推進していく。	○体力向上を目指し、体育授業の充実を努める。なわとびを中心とした体力づくりの取組も継続する。 ○食育・健康についての学習を、学校栄養教諭・養護教諭と連携して行う。 ○食育・健康に関する放送や掲示を委員会活動を中心に計画的に取り組む。 ○学級担任は、「給食だより」や「保健だより」を効果的に活用する。
		児童	早寝・早起き・食事・運動など、健康に気をつけるようにしていますか。	61	30.5	4.04	4.48			
		保護者	子どもは早寝早起き・食事・運動など、健康に気をつけている。	30.9	49.6	16.5	2.88			
	生徒指導	10	教師	学校は、基本的な行動や学校のきまりなどについて、適切に指導している。	60	40	0	0	本校では、家庭と常に連携しながら、生徒指導上の諸課題に取り組んできている。生徒指導については教師・保護者どちらにおいても肯定の割合が90%以上と大変高く、生徒指導の成果が現れていると考えられる。また、規則徹底についても、3者とも肯定的回答が80%以上と高くなっている。ただ、否定も少ないながらも存在し、課題が残されていることを示している。きまりを守ることで児童の安全確保につながり、集中して授業に取り組めたりすることにつながると考えられる。今後も、きまりを守ることの大切さをあらゆる機会に指導していきたい。	○開発的・予防的指導を行い、問題発生時には迅速な対応を行う。 ○約束、きまりについてはなぜ必要かを考えさせながら、発達段階に応じた形で指導を徹底していく。 ○様々な機会に保護者や地域の方々より情報を共有し合うことで、より効果的な取組につなげていく。
		保護者	学校は、子どもの生活や行動について適切な指導をしている。	51.8	46	2.16	0			
	規則徹底	11	教師	児童は、きまりを進んで守っている。	10	75	15	0		
		児童	学校のきまりや家での約束を進んで守っていますか。	66.4	27.4	4.48	1.79			
		保護者	子どもは、家や学校、社会のきまりを進んで守っている。	51.1	43.9	4.32	0.72			
○	安全	12	教師	学校は、校舎内外の施設・設備の安全が確保されている。	90	10	0	0	どの評価者種別においても、肯定的回答が非常に多く、95%以上になっている。施設についての質問も含まれており、本校の施設・設備が老朽化し、使いづらい面もあるが、これまでも職員担当を中心に安全点検を実施し、支障があればその都度対応してきた。すぐに建替えが困難である以上、今あるものを工夫し、より安全に使っていく必要がある。	○自らの判断で身の安全が確保する力がつけられ、安全に対する意識が高まるよう、各学級で計画的に指導を行う。 ○避難訓練の意義やねらいを指導し、予告なしや緊急地震速報を使った訓練を実施するなどして、実践力を高める。 ○職員による安全点検で挙がった点について速やかに処置できるよう態勢を整える。
		児童	安全に注意して生活していますか。	78.5	17.9	3.14	0.45			
		保護者	学校は、子どもたちの安全確保のために、適切な指導や配慮をしている。	65.5	29.5	4.32	0.72			
	開かれた学校	13	教師	学校は、学校開放や情報発信など、保護者や地域社会に開かれたものとなっている。	85	15	0	0	3者とも、肯定的回答が90%以上と大変高くなっている。コロナ感染症が5類に引き下げられ、学校行事が以前のような形を取り戻してきたことが要因と考えられる。コロナ禍を機に、行事の在り方を見直したことで、児童にも保護者にも思い出深いものとなり、教師も効率的な運営を心がけたことも大きいと考えられる。今後も児童の成長が促せ、さらに効率・効果的な行事運営を模索していく。	○行事等の持ち方を工夫改善することにより、保護者や地域の皆様に教育活動をより理解し、協力してもらえる体勢を構築していく。 ○学校運営協議会を中心に地域や保護者との連携を常に意識した学校運営を心がける。 ○ホームページ、学校だより、学年だより等で学校の様子を知らせていく。
		児童	運動会や校外学習、伊勢フェスタ、授業参観などの学校行事は楽しみですか。	87	7.62	3.14	2.24			
		保護者	行事や授業参観・学校開放日などの回数及び、学校からの連絡は適切である。	69.8	24.5	5.76	0			

